

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和7年10月（着任17ヶ月）
主な活動	<ol style="list-style-type: none"><li>オンライン追加説明会</li><li>地域おこし協力隊前期報告会と後期計画</li><li>地域イベントの準備</li></ol>

### 1.オンライン追加説明会

10月25日、市役所にて、地域みらい留学事務局主催のオンライン追加説明会に参加しました。

このイベントは今回初の試みとなり、以前までは9月に事務局主催のイベントが終了して個別での募集活動を行う流れでしたが、進路決定が始まる11月前に一度追加でイベントを開催することになりました。本イベントでは、前半に申し込みがあった60校限定で前期に参加したオンラインフェスのアーカイブ動画を参加者に視聴してもらい、後半で関心のあった高校の個別相談会に接続するという内容でした。

後半の個別相談会は川辺高校、薩南工業高校の合同相談会という形で設けて、一組の親子に個別相談を行うという結果となりました。

これに加え、後日、事務局からアンケートの結果を教えていただいたところ、川辺高校に関して関心がある内容が書かれていた方が6組あり、全国平均的にも多いという結果をいただきました。作成した資料と教職員の的確で聞きやすい説明についてポイントを押さえられていたころが分かる結果でした。アンケートにて興味を持ってくださった方々には各自ご連絡させていただき、今後もオンラインにてサポートをしていきます。



## 地域おこし協力隊活動報告書

### 2. 地域おこし協力隊前期報告会と後期計画

10月22日、川辺にて地域おこし協力隊の前期報告会並びに後期計画に関する話し合いが行われました。各隊員が前期にどのような活動を行ってきたか、進行状況と成果を発表しました。それぞれの活動内容が異なっているので、見えている課題に対して客観的にアイデアを出したり、これから地域とどのように事業を進めていくかを共に考える時間となりました。様々なアイデアが出る中で自分の活動を客観的に見つめる機会となって、次にどのように動いていくかの指標ともなりました。協力隊制度は経験者たちの制度整備によってサポートや交流が充実してきています。南九州市の協力隊は定期的に集まってコミュニケーションを下に互いの状況や様子を共有する機会が他の団体にはない強みだと思います。これはとてもありがたいことで自分たちのモチベーションやメンタルバランスのコントロールにつながっていきます。悩みや困ることを共有して、自分もそうだと共感してもらえるだけでだいぶ違うので、このような機会には積極的に参加したいと考えています。

私自身も活動がもう少しで約半分になるので、後期のビジョンをしっかり立てつつ、計画的に物事を進めていこうと思います。

### 3. 地域イベントの準備

前期から少しずつ動き始めていた地域イベントへの参加が形になってきました。現状では、地域の方にお声掛けをいただき、以下のイベントや話し合いに参加しています。

- 1、地域育成の青年部の話し合い
- 2、川辺軒先夜市の企画
- 3、近隣地域学校への宣伝

## 地域おこし協力隊活動報告書

これらの企画が特に進んでいる状況です。地域育成の青年部の話し合いについては、川辺に存在していた「子ども会」のようなものに代わる子どもたち同士の交流の場を提供できないかという論点で話し合いが進み、実際に12月にイベントをスマールスタートで行うことが予定されています。まずはやってみてどのような結果が出るかを分析して次に繋げていくという思考で様々な企画に挑戦していくと地域の育成部のメンバーで考えています。子どもたちが川辺に住んでてよかったですと思えるようなことをできるように頑張ります。

11月1日に行われる川辺軒先夜市は、地域の商店街を盛り上げるためのマーケットイベントとなっています。地域の方々に呼んでいただき、ゲームの大画面体験会と祭りの記録撮影を担当することになりました。話し合いから参加し、お祭り感を出すためにどのようにしたら盛り上がるかアイデアを通してもらったり、地域に住んでいる1人として受け入れられているような感じがしてとてもありがたいと思っています。そしてこのイベントには川辺高校の学生もボランティアで参加します。今回は第三者というより一緒にイベントを作り上げる機会となるので学生たちがどのように地域の方々とコミュニケーションをとるかを身近に見る機会になると期待しています。

そして、近隣中学校への宣伝に関しては、川辺高校との調整を行っているところで、学校のスケジュールに合わせて魅力をしっかりと伝えられるようなプレゼンテーションを考える段階に入っています。高校の魅力化が明確になった上で、学生数が増えて賑やかな状況になれば、街にも活気が溢れてくると思います。それはイベントやお祭りへの参加のパワーやテンションにつながっていくと思うので、それらを最上級に発揮できるように周りの人たちがサポートしていく必要があります。この流れに乗りやすい環境を地域の方々や学校の先生と今後も考えていこうと思います。

